

「ご存じですか！文化財」 針ヶ谷家文書

市指定有形文化財
平成24年3月6日指定

33



問合せ
大利根教育事務所
☎0480・72・1323



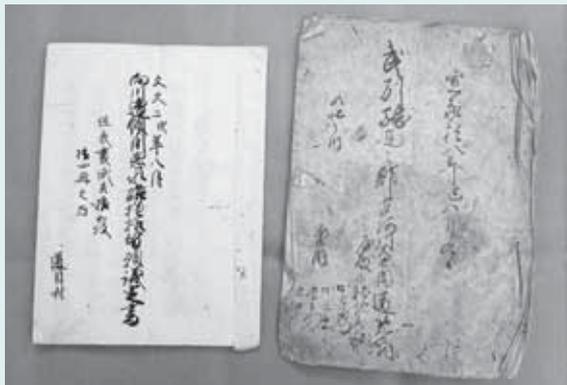
所在地 北下新井684-1
大利根文化体育館内

針ヶ谷家文書は平成24年3月6日、合併後、新たに指定された市の文化財の一つです。

針ヶ谷家は中世から現26代当主まで、長年にわたり道目村名主や原道村会議員・助役・北埼玉郡会議員など、村政・郡政にも活躍してきた旧家であり、近世近代文書約五千点を所蔵してきました。

その中には、寛永6（1629）年の「武州騎西之郡古河川辺内道免村屋敷御検地水帳」や、幕末から明治にかけてのお触書、御用留など多数所蔵されています。なかでも、年貢割付帳・村明細帳・道目村絵図・農間渡世・水利・普請・治水関係の

文書などがあり、当時の農村の生活の様子が分かる資料が多数あります。
嘉永から明治にかけての暦、伊勢・西国・坂東などの旅行記や元治元年の天狗党の乱、長州征伐、他国の災害、天保・慶応の打ちこわし事件や戊辰戦争などの情報の蒐集の細やかな記事があり、当時の村の生活の一端を読み取ることができる貴重な資料です。



紹介者 石川 武男さん（道目）